

LEVEL BOOK

1994

サハリン

サハリ自然保護区調査

1994年7月28 ~ 8月11日

July 28 丘玉 ANK 491便

13:40 - 14:25

函箱 SU806便 17:00 - 22:00

ニジサハリニスク

伊藤浩司, 矢野牧夫, 沖津進, 川端弘子

下館 福志 富樫辰也

604

-19時(日本時間) 着 現地 22時

多田 ^ウ 出迎え

Hamakoh Hotel (韓国系)

2人1部屋(スイートルーム)で

20万ウブウ (15日)

Jul. 29 晴 ニジサハリニスク

Dr Omischenko 村内. AM 10:30

村内ニスク 保護区

マホン. 地帯保護区

自然保護委員会委員

Opromyenko Hamakoh Ubasotna

博物館館長

Памбуев, Брагуцлав Мухамедов

博物館

マ42-ニココフ谷
Mamseukob P. B.

スキーセンター台入口。 ヤチ
カラマツ造林地下ニ次林 ハン
水流のあつ草地 モモ スグリ
オニシモツケ ツキ スギ
北海岸と全く同様の草地
ハンゴウ 40箇セット

エソセンエソウ。
アオシ スズメ

300m 4輪 Surf.
Jul. 30 曇 300km 車3台で
コジサハリノスクーホドラス
コジサハリノスク市街西側スキー
センター台入口(市街隣接)にて

46°57'29"N

142°40'29"E

トブネズミ ad 2, juv 5

Mus musculus 1

Apodemus peninsulae 2

Clethrionomys rutilus 1

12:30 川畔の牧草地にて調査
48°02'03"N 北海岸セナボツキ
142°19'55"E T=シモツケ、ヌモキ
早速、川に ^{カラマツ} (アス釣リ) 4本上げ。 ^{40cm}
オシコロマ アヤマス、イトウ等
ビ15cm径のものあつた。
アオシモツケ/カマシ 材ハナリ
ハンゴウカラス 河川改修は全く
18匹あつた ない自然河川に
海岸草等 16ヶ所 } カラマツ大群
ゴマツアザラシ 海岸草 300m
沖の岩礁上に30-40匹休息

Makapoh 15:30

製紙工場があるが木材の皮
を削り、木の屑を水と共に直接
流しつけているため周辺が
海がひどく汚染されている

カステイアロ(赤日付イスク南)

49°06'53"N

142°40'08"E

トホーツツ沿岸と同一海岸風景
写真2枚(1マナ)

ホロタイスク
矢野氏(知人)金氏(朝鮮人、
夫人日本人)の採集した夕倉
石の地をなす

Jul. 31 晴

ホロタイスク 10時去菅
7-4ヤ放同

49° 14' 26" N
142° 33' 45" E

トロノキ、ハン、ヤナギ
エゾマツ ニ次 生木林

岩礫 TUKMEHEBO
スズナ

12:00 河畔にて居る

トカバヤナギ、アマノノキ、エゾマツ
ホロタイスク ヤナギ

49° 10' 06" N
142° 36' 07" E

49° 13' 44" N
142° 44' 35" E

ホロタイスク却外西部
鉄道沿いの河畔トカバヤナギ
林(25年生)内にハナジキウ50
株縁線路側面の40箇をト
カバヤナギ林内ヨモギ
~~ヤナギ~~ハンゴンソウ 樹高8-9m

カラフトイバラ、ヨブスモウ、
スズメバチ

ヨモギ、ヤナギ、イワカヤナギ
Calystegia sp.
キバナシオガマ、スゲ、カラフトイバラ
ヤナギ、ホサギシモクテ
ヤナギ

線路横の草地にて
10マメの似たトノノ葉の
草本の中心に蓄る10マメヤナギ
に似たホソマの葉の草本に似る
ジュリ、ジュリ - コムシクイガ、

Aug 1 曇 昨夜雨がふった

49° 13' 44" N
142° 44' 35" E の FORTISSO

西部郊外の「カバヤチキ」林及び
林縁 set のハヤチク

「カバヤチキ」林内

Apodemus peninsulae ad ♀ 1

林縁 鉄道路肩 雑草 + 杉林内
草地

Apodemus peninsulae ad ♀ 1

Clethrionomys rufocanus ad ♀ 1

pitfall 10箇中 *Sorex gracillimus* 2

大鏡 「カバヤチキ」林内 の コツク

90箇 set *Sorex unguiculatus* 1

「カバヤチキ」林内 小川のハンラン
原のたけ落葉 腐植層は厚い
土壌と 砂土壌 一部の落葉

腐植層あり

林縁 草地も同じ

7 + 10 42

Polonaisk 車方の自然保護区

49° 19' 36" N Kasa 車道

143° 13' 16" E 汽車の車道

Polonaisk 堡塔区 湧き泉
後所予集 102 万円

49° 24' 08" N 汽車停車

143° 15' 44" E (石巻)

クイマツ 雑草 地表 地底 set

44ヤチ

Betula nana

722ヤ

ヒゲは 葉の裏に 赤い点あり

増えている 5年前の set + 12ヤ

4ヤが出た (射撃)

池の方でもいり、葉は高い山に

いりか、下の下りてくる

1ヤもいり

カリソ 西海岸の多い
Andatra zibethica 沼田の多い
林が広がるが、大陸の如く
涼季が長い。1959年以降は
林が減少し、沼田の多い
レイン 15.5
Felis

木林集積集積

Trodabae 5:40 着泊(2泊)

49° 28' 48" N

143° 19' 13" E

二次林(牧草地から)の

パシク 50 set

グンカシバ 二次林

エゾマツ 二次林

林床落葉層腐植層厚し

エゾマツ(40%) (少)

Aug 2 朝霧 昼晴

パシク *Clethrionomys rutilus*

3頭, *C. rufocanus* 1

Турогов
Николай Григорьевич
старший научный
сотрудник, орнитолог.
694220, Россия
Сахалинская область,
г. Поронайск,
Лувовая, д. 2-а,
Поронайский заповед-
ник.

保護区 2向3

湖畔ヤナギ

49° 28' 20" N

エゾマツ、グンカシバ

143° 31' 16" E

高木林

川でカワラトリス、多量の上死体
多し(鼠害)。9月後半にはマツ、パシク
集種子(30cm級)

49° 26' 22" N

alt 112 m 鼠害

143° 35' 46" E

保護区 山火後再生林

エゾマツ、グンカシバ

49°24'00"N 62m

143°38'47"E

Saballinae 村

海岸部 落 Vladimiravo

49°17'05"N

143°38'27"E

カモシラ スズキ

カウチ

ヒタキ

B 海岸

自然環境調査委員会 調査地

カウチは多い 植生

スズキは多い

環境庁 Ring

10 May, 1994

Bragulupobha River 植生

オオカバ

Anas acuta no 10A42553

海岸部 落住民

ヒグマ 3-4匹のもの オオカバ

ズンカヒツツ 毛皮 鳥屋

49°24'20"N alt 36m

143°37'54"E

ヒグマ トビコウ 鳥屋 木湖

林床 クロウソク (大量)

ゴゼンヤクバ, マイズ

林外 イツツシ 鳥屋 スキ

ヒグマカウ

Turdus montanus

(open な 山 火 跡 オオカバ 1 羽)

上 部 トビコウ ヒグマ 林 林 跡

鳥屋 24 羽 オオカバ 1 羽

habitat あり

河川 林 全 くの 未 改 修 河 川

河 床 か 砂 利 の 川 2 匹 以上

マス か 大 量 の 土 産 90 L 以上

川 岸 を ねらう アメマス, オオカバ

が 集 中 して いる。

カラガマスの卵かけを取った
地元の人は蒸籠にして
卵の汁をヒヤ地(台も)はた
てずで20分 5-6人で湯を
使い出しこみここここ

Aug 3 曇 Troadaboe

パン作り

パン作り 大部分河からくわら。

C. rutilus 幼体(葉巻直後) 1

大釜 pitfall にも *C. rutilus*
幼体(葉巻直後) 2匹

Troadaboe 翌 8:00 の汽東か

おくわで 9:00 出発

Polonaish へ 海岸までハクセライヒバリ
Motacilla flava 多
(一は北の上山麓の海岸に棲む)

Polonaish かしらゴロゴロスワ

山地 十ヶ出玉

49°40'44"N

142°05'42"E

尾崎 かし場あり 十ヶ出玉生息
49°40'03"N 地味
141°50'39"E 20. 峠はT20
日本時代の伐採跡、遺跡あり

山地地味エゴロゴロスワ主体
の原生林が残っている。山地
の道路は非常に悪路。日本海側
に逃く早さと比較して道路整
備よし。日本海側ではウツヤ
ニワトコが多く至る。
道路工事の大雨が降ると泥
水が河川入りマス。卵場は橋
の畔で Urogorsk 着
祝雨

Aug 4 晴

Urogorsk (Ulegorsk)

カマヤリスケル土壁

シロウドツバハ 集団営巣地

スズメ、アマツバメ多い

10=30 発

11時35分 山火跡(1949年)

銅林山大規模かし場あり

十ヶ出玉生息の可能性大

12:50

Ozero Aynskoye (湖) 眺望台

48°26'56"N

141°51'34"E

グイマツ林 草地

ウミズク、ノビタキ、ウリ、ヨヨコキリ

ハシボソガラス、カヲヒク、イソシカ

海岸グイマツ純林 (春国産
のアカエゾマツ林と同様)

林床 マイバルソウとシダのみ
ミカドネズミの habitat と見わ
れる。実際のミカドネズミの
1頭 同撃された (植生調査)

ウソ

ヤヤ田産の

48°26'32"N (植生調査)

141°52'18"E

エゾマツ、トドマツ 共生林 (和室
跡の林相類似) グイマツ混
コシクイ (424 424 424) + カマド

ヒカヲ若鳥群

ホシガラス、コゲウ、ハシダガウ

キウイダキ群 イソシカ (胸の
縫い目) 4 この地の針葉樹林の主要
な鳥類と見られる

エゾマツ、トドマツ 共生林。和室跡
のグイマツが主

エゾマツ、トドマツ、グイマツ 共生林
の林床は 2種類のシダ類
マイバルソウ、コセエダ、コシ
クイ、クワウソウ 主体
タカネワラビ

エゾマツ、トドマツ 共生林 郊外
山中の本テッポウ 海岸
ホタル周辺すくすく 2種林
エゾライオン、エゾモロモロ

Aug 5 晴

エゾマツ、トドマツ 共生林 南西 新ガク
途中山岳部 トドマツ、エゾマツ
(46°44'42"N alt. 388m) + カマド
(142°01'18"E rep. Heikanshūin
ツケカンバ、オカヲハチの自然林
林床 4シマザサ 密生 (植生調査)
林縁 フキ、イタドリ

パン420 30箇ロット
pitfall 20箇

ササがあとにしかウグイスが初鳴き
した

マヒワ、ウソ

イスカ石

~~ササ~~ササがあとにしかウグイスが初鳴き
したの皮はまじり跡あり

Урочайное

46° 47' 14" N

142° 21' 55" E

トマツ林 高木林 (18m)

林床がマヒワサ 落葉層厚い ^{一部}ササ
(樹のシラカバにシラカバ 植生調査) あり

パン420 40箇ロット

pitfall 25箇

ササのくい跡あり (ササがあと)

Aug 6 暑

Урочайное

46° 47' 14" N

142° 21' 55" E

トマツ 高木林

(*Apodemus peninsulae* 1
Cl. *rutilus* 2
L) ずいぶんササがあとに

Pitfall

Sorex unguiculatus 4

ウグイスのまじり

rep. *Heberichia* 肩根上

46° 44' 42" N

142° 01' 18" E

トマツ

イマツ林

トマツ・エンマツ 高木林

カラフトヒキガエル 1

Apodemus peninsulae 2

Cl. *rutilus* 1 (ササのくい跡に)

pitfall

S. unguiculatus 8

S. gracillimus 3

Obhotskoye
Ozotshol

イグマツ、トドマツ 純林 高木林

20m 林床は 20cm 50cm あり

コシロシ 40cm, マイヅルヤウカ

球 4 20cm (海岸)

イソノリス 1 段 (鳥毛) 目撃

46° 51' 18" N alt 5m 以下

143° 04' 40" E

Obhotskoye 西

イグマツ 純林 明子林

イグマツ 密生

コシロシ 40cm

マイヅルヤウカ

コシロシ

110cm 40cm 30cm

46° 51' 44" N

143° 00' 38" E

Aug. 7 曇 ユジハ → ヴナ 回収

グツセー

Lycopodium

トドマツ 高木林

Cl. rutilus 1 (10 #)

Sorex unguic 1

Pitfall

S. unguiculatus 2

S. gracillimus 1

10cm 40cm 50cm

Obhotskoye 西

イグマツ 純林

Cl. rufocanus 2

A. peninsulae 1

Cl. rutilus 7

46° 35' 17" N 東カ イグマツ 林

143° 14' 52" E トドマツ, イグマツ

Gyrocampa 1 匹

Aug 8 晴

一日休着 博物館の急ぎ急ぎ
換 スライド コネオ (4鳥)
E 4/3 予定 12/7 2/10
停電の ため 結果 5/4 ため
16時 5/4 Onychomys 6/4 の
と 2/3 2/7 調査報告 意見
交換 買物
停電は 毎朝 10時 2 夜中 2

Aug 9 晴

Bucee アホ達の アカエツマツ林

46°35' 17"N Bucee 湖北側
143°14' 52"E (40km E of
アカエツマツ林 (Korsakof))

トドマツ、カイツ 混在
木床 ソツツ 密生 ウスゴ
一部 1/1 ガリヤス マスルツツ
パンヤコリ 60箇 2/2 4/4 ハナ
pitfall 30 バクシン

Aug 10 晴

Bucee 北 アカエツマツ林
7 十回 42
10 24 2/3

C. rutilus 3+) 計
C. rufocanus 1+) 36

内 rutilus 50 年 6 rufocanus
幼体 (深立 2 後) 計 3 頭は
標本 作す ず。エツマツ林 2/4 2/4
α 2 8/4 0 非 常 に 難 し い。要 検

Pitfall 12 skull

Myopus schisticolor 7

Sorex gracillimus 3

C. rutilus 50 年 1

(rutilus 50 年 1 標本 作す ず)

2 2 4 4 + 7 1

2/2 1/5 南 部 の 平 野 部 の
自然 は 比 較 的 に 少 数 2/4
2/4 7/4 海岸 (Aniva 湾 北
面) の 部 分 (2/2) 市 街 部 2/4
2/4 部 分) の 林 地 部 分 2/4
2/4 部 分 は 遠 境 の 部 分 が 多 少

千鶴がたがひ、水鳥の採
 餌場とすべし。こゝに
 コジノ市近辺にも 20-30km
 以内にも規模は大き
 なくとも自然林(エリト
 ヲノツ)が多数残されて
 いる。これは狩猟に係る
 Korsakov より南部、南部
 の地域では更に一層、天然
 がたがひ残されてゐる。
 Bycer 湖北側のアカエリノ
 などもその一部で、この附近
 の景観もすばらしい。

Poronaisk 周辺にも今2回
 Trodabae は、昭和30年
 の十月三股を思ふ。女
 集落に木材の付着集積地
 だ。森林鉄道が、ここから
 木材を Poronaisk まで運
 び出す。

Poronaisk 自然保護区は
 7ヶ所をまとめた。

自然
 刺戟と海岸を食す停
 留区で、区内の自然は54
 は多数のサウマソリ上か
 り。常にすばらしい自然
 保護区とあり、現在
 Poronaisk 側から
 街の東へ からは
 森林鉄道にかぎらず、車
 もよみに来る。運搬した
 プリ機で送る。この
 ほかこの地域の保護
 大高段とすべし。しか
 Trodabae 地区ではこの
 のカマソリ上側は交通
 にかぎられ、野生の
 鳥卵。放精前の細針が
 2ヶ所。早のみに卵か
 り。自然はこの4米河岸
 林内にすべし。こゝに
 はこのの地アメリカで
 1枚の古をこの地が
 ローの捕殺の似る
 羽を思ふ。

Aug 11

Koreakov 塔 11時の船

(乗降の乗客は12時) ~ ~

船内着は日本時間16時半

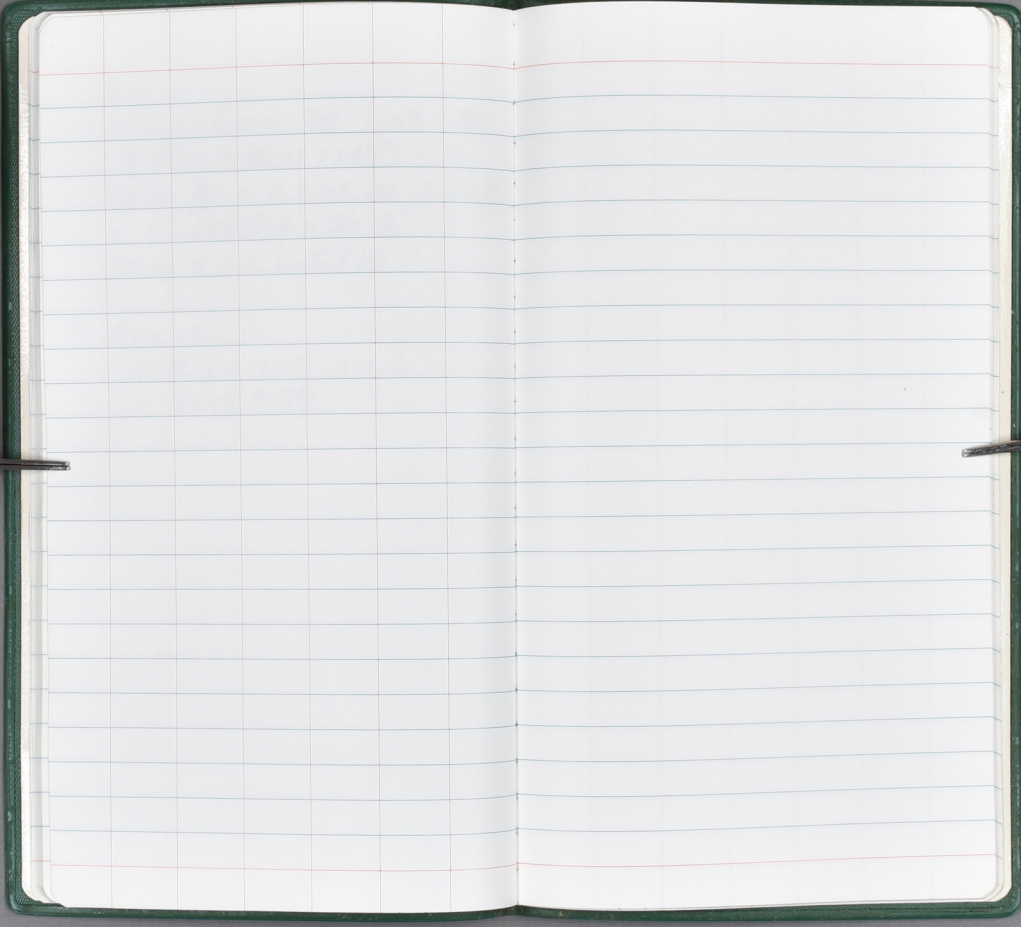
の船6時10分の航海

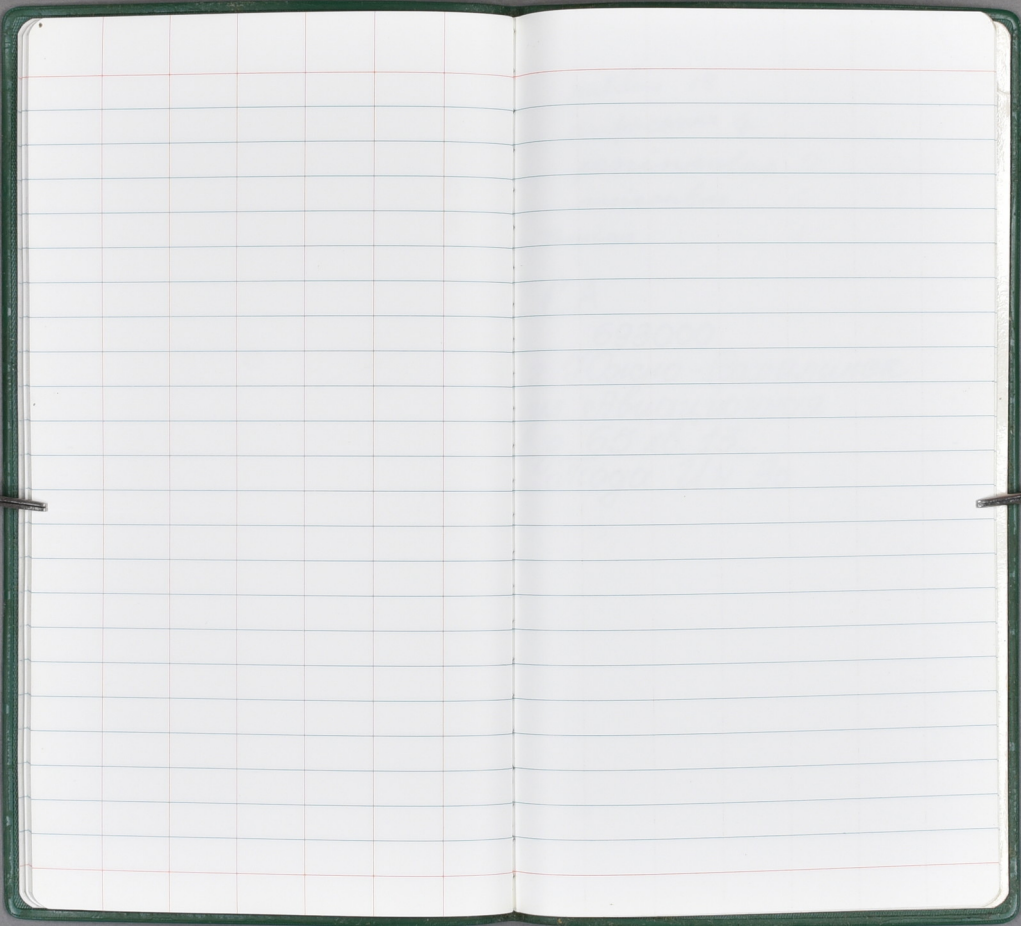
船内ではHotel泊。

Aug 12

ANK 10:15分おかし

一札燈を理





rutilus 18

rufocanus 4

peninsulae 7

misculus 1

Tamias 1

СА

693000

г. Южно-Сахалинск

ул. Авиационная

д. 65 кв. 13

Итого ИИ 30

日本郵便キャッシュカード

012-0-113325

Shinkin Card (VISA)

4980-7602-6096-9402

06/95

Tokugin Card (JCB)

3530-2811-2247-9768

07/95

ANA Card (JCB)

3540-1247 8691-1072

02/97

NISSEKI

ONE-UP

ASSOC

110.2005-1108.4

03/95

五光